

挑戦する現代ガラス 日本のガラス展 Glass in Japan



4月9日(土)～7月10日(日)
9:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)

前期 4月 9日(土)～5月23日(月)
後期 5月28日(土)～7月10日(日)
《前期と後期で作品を入れ替えます》

休館日/第3火曜日(4月19日、5月17日、6月21日)
展示替休館日(5月24日～5月27日)

入館料/高校生以上 800円 中学生以下無料
団体(20名以上) 700円

主催/公益財団法人七尾美術財団、七尾市、日本ガラス工芸協会
後援/文化庁、一般社団法人日本硝子製品工業会
日本ガラス工芸学会、公益社団法人企業メセナ協議会認定
NHK金沢放送局、北陸放送、石川テレビ、テレビ金沢
エフエム石川、ラジオななお

問合せ/〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125部10番地
Tel 0767-84-1175 <http://nanao-af.jp/glass>



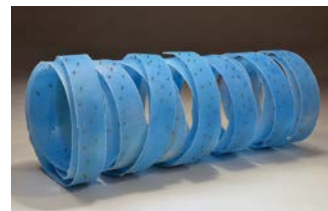
交通案内

- ◇電車・バス：JR 金沢駅から和倉温泉駅まで特急列車で約 1 時間。
駅前から能登島交通「のとしま臨海公園行き」バスで約 30 分、「美術館前」下車すぐ。
- ◇車：金沢方面から…のと里山海道・徳田大津 JCT を経由、能越自動車道・和倉 IC から約 20 分。
富山方面から…能越自動車道・氷見 IC を経由、七尾 IC から約 35 分。
- ◇飛行機：のと里山空港から「ふるさとタクシー」でガラス美術館前まで約 1 時間。
(前日 15 時までに要予約 中島タクシー Tel 0767-66-0114)

「蕾」新倉晴比古、2015年 JGAA賞受賞



挑戦する現代ガラス 日本のガラス展 Glass in Japan



日本ガラス工芸協会は、ガラスと人々との結びつきを深め、文化の発展向上に寄与することを目的に、ガラスによる創作にかかわる人々によって創設された日本で初めての団体です。

1972年の協会創設以来3年毎に開催される「日本のガラス展」は、同協会事業の柱となる展覧会であり、毎回会員による個性豊かな新作が出品されます。その質の高い内容は、国内及び海外においても高く評価されています。13回目の開催となる本展ではサブタイトルを「挑戦する現代ガラス」とし、表現においても技法においても日々進化し、挑戦し続ける現代ガラスの最先端をご紹介します。また、16年ぶりに一般公募部門を復活させ、意欲ある作家の出品を募り、35名の作品が入選しました。

巡回先である当館では、会員81名と公募入選者35名を合わせた116名の最新作を前期・後期に分けて展示します。多くの方にご覧いただき、現代ガラスの魅力に触れ、ガラスの表現の可能性を感じていただける機会となれば幸いです。

前期出展作家

協会会員作家

朝倉 節子	上山 俊一	斎藤 ゆう
阿部 優生子	神田 正之	幸夫
飯塚 久美	菊楽 ゆみ	陸子
生田 哲	北 泰子	佐川 光信
石田 恵子	北島 雅子	佐々木 雅浩
石橋 忠三郎	栗田 保久	島村 信一
石原 秀文	黒木 昭昭	下嶋 理依子
磯谷 晴弘	古池 由紀雄	晶阿弥 博子
上島 あい子	小島 誠	白幡 明
上野 ツカサ	後藤 かよ子	鈴木 剛史
宇知田アサコ	小西 晃	鈴木 伊美
海藤 博	小林 眞	
加藤 千秋	小林 淑郎	
金子 正人	小山 けい子	

公募出品作家

朝倉 祐子	井本 真紀	桑原 あずさ
荒井 尚之	大槻 洋介	小池 志麻
有田 佑	小野 真琴	神代 良明
有永 浩太	柏村 直樹	齋川 瑠那
市川 篤	勝川 夏樹	齋藤 直
今井 瑠衣子	国広 育伸	関野 栄美

後期出展作家

協会会員作家

副島 太郎	野田 雄一	八木 洋子
高木 ひろ子	橋本 和代	安田 泰三
立花 江津子	長谷川 秀樹	安田 麻里
田邊 玲子	広沢 葉子	山口 浩二
谷 祥一	藤田 潤	山科 昌子
玉田 恭子	藤巻 晶子	山田 えい子
近岡 令	藤原 信幸	山田 輝雄
張 慶南	古田 利一	山野 宏
塚村 剛	ホンムラトゾウ	山本 えりこ
中村 和美	馬 知加子	横山 尚人
鍋田 尚男	増田 ひで子	吉井 ころこ
新倉 晴比古	松浦 あかね	石川 直子
西 悦子	松浦 健司	渡部 和恵
西出 眞	美津石 紘詩	金澤 碧

公募出品作家

たかざあきこ	永井 香織	桃原 和広
多田 えり佳	中原 司	山崎 純子
辻 満希憲	藤井 哲信	山本 菜央
津守 秀憲	保木 詩衣吏	吉田 成美
鄭 継深	堀 正直	吉田 延泰
富樫 葉子	松本 大智	

会期中のイベント

①スペシャルワークショップ

「ガラ美で挑戦!ガラスのオブジェ作り」

板ガラスを使って、オリジナルのガラスオブジェを作ります。

- 日 時/5月1日(日)、4日(水)
- ①10:00~12:00
- ②13:30~15:30
- 参加費/500円
- 定 員/各日50名(予約不要)



②のとじまガラス・スタイル

20歳以上の方を対象とした、ワークショップを開催いたします。詳細は石川県能登島ガラス美術館のホームページにてご案内いたします。(石川県能登島ガラス美術館HP <http://nanao-af.jp/glass>)

次回展お知らせ

~ガラスが〇〇に変身!?~ ガラスに見えないガラス展

- 会 期/2016年7月16日(土)~9月4日(日)

写真(上段)左より「悠久の刺繍伝説」晶阿弥博子、2015年/「水の響」藤田潤、2015年/「森の言葉」宇知田アサコ、2015年/「種子のかたち(小文間の植物シリーズ)2015-2」藤原信幸、2015年/「群舞春花」横山尚人、2015年/「花器「わだつみ」白幡明、2014年
写真(中段)左より「風の街」ホンムラトゾウ、2015年/「レポート」近岡令、2014年 ※中段写真の2点は、JGAA賞受賞作品です。
写真(下段)左より「源氏封本抄」玉田恭子、2015年/「丸と四角」上山俊一、2015年/「連続性'15」神田正之、2015年/「花咲く日に向かって」菊楽ゆみ、2015年

